

「いじめについて考える日」

5月9日

約10日間のゴールデンウィークが終わりました。楽しく過ごせましたか？

長い連休で「疲れている」人が多いと思いますが、周りのお友達も疲れていますよ。気持ちをしっかりと持って今日からまた頑張りましょう。

さて、今日は「いじめについて考える日」です。

みなさんは、お友達に物を借りたり、少し面倒だなと思うことを頼んだり、グループで遊んでいるときに、友達に対してふざけたり、からかったりして「いじる」ことがあると思います。ものを頼まれやすい人は「いやだ」と言わないので頼りにされている人だと思います。また仲良しの友達に対してなので、頼んでいる人や「いじられキャラ」をいじっている人は、まさかそれが「いじめ」になっているとは全く思っていない。

けれども、その回数や日数などが何度も続くと、されている人はどんな気持ちになるでしょう。そう考えると、それは「いじめ」になります。知らずに「いじめ」をしてしまい大きな事件になることがあるんです。

4月8日の始業式に、先生から学校目標のお話と、「いじめ」は絶対にしないことをお話しましたね。されたいやなこととは止めないといけません。力の強い人や大勢で暴力をふるったり暴言を言ったりすることだけがいじめではないことは知っていますね。

去年の秋に愛知県の学校で、生徒が包丁で友達を切りつける事件が起きました。二人の生徒は、友達同士だったそうですが、今の話のようなことが原因だったそうです。友達であるために、されている人も「やめてほしい」と強く拒絶できずに、日に日に被害者としての気持ちが大きくなり、恨みや怒りが大きくなっていきました。友達を友達だと思えなくなってしまい、我慢できなくなって大きな事件になったのです。

みなさんのまわりに同じようなことはありませんか？ 似たようなことがあれば、場合によってはクラス全員が知らずに「いじめ」の加害者になっていることも考えられます。気づいた人はすぐに止めなければなりません。また、悩みがあれば先生たちに相談してください。

今日は、自分の周りで「いじめになっているのではないか。困っている人がいないか。」ということも考えて確認してほしいと思います。

もうひとつ聞いてほしいです。今日、「学校安心ルール」についてお手紙が配られます。それは、皆さんが安心して学校生活を過ごせるために、「してはいけないこと」の確認と、「もしも起こったときにどうするのか」についての約束が書かれています。いじめをしないことも当然書かれています。暴力やその他のルール違反についても、それがどんなことなのかをしっかりと考えてほしいと思います。

あらためて、今日は「いじめについて考える日」です。自分自身や周りのことを見つめなおす日にしてください。そして、小学生・中学生の全員がしっかりと取り組んで、いじめや暴力のない安心して楽しく過ごせる学校であるようにがんばってください。

以上